

相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和2年7月～9月)

**コロナウイルス感染症の影響による景況悪化は下げ止まった感がある。一部の業種では
いまだ厳しい業況が続くものの、全般的には徐々に回復が進む見込みである。**

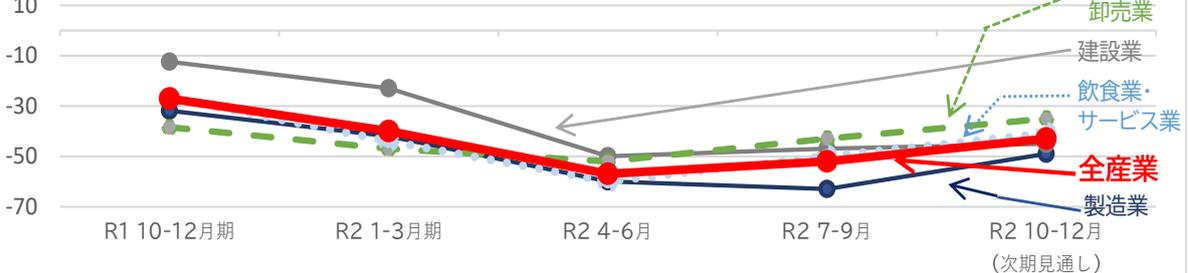
ポイント

- ▶ 令和2年7月～9月期の総合業況DIは▲52 と、前期▲57 から5ポイントの改善。前期が深刻な状況であった飲食業・サービス業(前期▲60・今期▲50)および小売業・卸売業(前期▲52・今期▲43)が数値上は10ポイント程度とかなり改善したものの、まだまだ厳しい状況である。前期大幅に悪化した建設業(前期▲50・今期▲47)は下げ止まったが、製造業(前期▲60、今期▲63)は、更に下落が続いている。
- ▶ コメントによると、引き続き全業種においてコロナウイルス感染症の影響による業況悪化を訴える声は多い。ただし、前期に直接的な影響を受け苦境にあった小売業の大半や飲食業・サービス業では、感染拡大の勢いが収まりつつあるなか、地元消費を中心に需要回復の兆しが見えてきている。一方、製造業や建設業では、消費者需要の減退と設備投資・公共投資の先送りにより未だ回復が見られない。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲43 と、今期▲52 から9ポイントの改善。製造業(今期▲63・次期▲49)、飲食業・サービス業(今期▲50・次期▲41)、小売業・卸売業(今期▲43、次期▲35)と、景況が回復へ向かうものと見込んでおり、業績改善への期待が高い。コロナウイルス感染症の影響が比較的少ない建設業(今期▲47・次期▲45)のみほぼ横ばいという予想である。

各業界から寄せられたコメント

- ・【光学レンズの設計製造販売】顧客のテレワークの影響で、案件がなかなか進まない。
- ・【総合建設業】公共工事、民間工事ともに減少し、競争が激化。
- ・【衣料品、住まいの品、食料品】食料品中心に売上は昨年を上回る月が続いているが、対策費用(衛生・消毒、告知・啓発)が大きく利益を圧迫。
- ・【貸切バス】団体旅行などが一切なくなり売上が続いている。受注済の来年のオリンピックの仕事を含めて、今後の見込みがたたない。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前々期概況 (R2.1-3)	前期概況 (R2.4-6)	今期概況 (R2.7-9)	次期見通し (R2.10-12)
製 造 業	▲42 ☔	▲60 ☔	▲63 ☔	▲49 ☔
建 設 業	▲23 ☔	▲50 ☔	▲47 ☔	▲45 ☔
小 卸 売 業	▲47 ☔	▲52 ☔	▲43 ☔	▲35 ☔
飲 食 業	▲44 ☔	▲60 ☔	▲50 ☔	▲41 ☔
全 業 種 (総 合)	▲40 ☔	▲57 ☔	▲52 ☔	▲43 ☔

DI値 91以上	DI値 80~11	DI値 10~▲10	DI値 ▲11~▲30	DI値 ▲31以下

調査期間：令和2年7月1日～9月30日

回答率：28.5%

回答者数：1,059件

調査対象：当所会員事業所3,722社

<<景気観測調査>>

前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。

「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる